

がくしゅうようぐ 学習用具のきまり

いくしなしょうがっこう
生品小学校

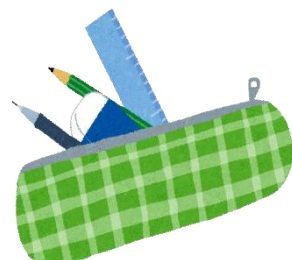
- 学校は、学習をするところです。
- 授業で困らないように、学習用具をきちんとそろえ、すべてに名前を書きます。
- 学習に必要なものだけを持ってきます。

〈筆箱〉

- ・1年生は、箱形タイプを使います。
- ・2年生以上は、ファスナータイプでもいいです。
- ・キーホルダーなどのかざりをつけません。
- ・中身が取り出しやすい、シンプルなものにしましょう。



〈箱形タイプ〉



〈ファスナータイプ〉

※人形のようなもの、缶ケース、縦置きのパンスタンドのようなものは、昨年度学習の妨げになった場面が見られましたので、おすすめしません。

〈筆箱の中のもの〉

えんぴつ	5～6本	Bか2B（高学年はHBも可）にぎりこぶしよりも長いもの。 無地の多角形のおすすめ。毎日家でけずってくる。 ×キーホルダーのような飾りのついたもの、ロケットえんぴつ
消しゴム	1こ	よく消える、白くて四角い消しゴム ×におい付き、色付き、おもちゃのような消しゴム
じょうぎ	1本	10～15cmくらいのもの。透明で、メモリがはっきりしたもの。 ×折りたたみ式、飾りのついたもの
赤青えんぴつ	1本	赤・青 別々に2本用意してもいいです。
ネームペン	1本	油性であれば、種類は何でも大丈夫です。

- ・携帯用の鉛筆けずりは使いません。（必要な場合は、教室の鉛筆けずりを使います。）
- ・鉛筆キャップや鉛筆グリップ、鉛筆ホルダー、消しゴムケースは、必要な場合のみ使います。（手悪さの原因になります。）

〈下じき〉

- ・シンプルな無地のものがおすすめです。

※学年や学習内容によって、別のものが必要になることもあります。

※特別な学習（クラブ・委員会活動など）で上にあるもの以外の必要なものを持ってきた時は、担任の先生に伝えます。

※守れない場合は学校でも注意しますが、ご家庭でも見ていただけるとありがたいです。